

平成15年度（2003年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 入学試験問題

試験科目：論述（問題用紙は2ページ、設問は11問あります）

第1ページ

以下の設問1～11から2問選んで解答しなさい。そのうち少なくとも1問は、第1希望の講座の問題から選ぶこと。

多元文化論講座

1. パリ郊外のドランシーには、かつてユダヤ人がアウシュヴィッツなどの絶滅収容所へ送られる前に強制収容されていた収容所があった。そのいわゆる「アウシュヴィッツの控えの間」は、現在、アフリカやアジアからの移民家族が多数居住する集合住宅として使われている。ナチズムの犯罪の犠牲となった人々とその家族にとって、そこは過去の記憶のシンボルである。しかし、現在の住民にとっては、記憶よりも、現在の生活条件の上昇こそが問題であり、両者の間には深い溝がある。

この種の対立について、あなたの考えるところを述べなさい。別な事例に即することも自由である。

2. 「共生」(symbiosis)という言葉がよく使われるが、本来どのような意味であるのか説明し、さらにこの語が我々の表現活動においてどのように用いられているのか、論述しなさい。

先端文化論講座

3. 古代ギリシアの哲学者プラトン Plato は、彼の著作『国家 The Republic』において、音楽や文学の様式を新しく変えることは、国家・社会に重大な危険をもたらすと考え、いくつかの音階や、多種多様な転調を可能にする琴やハープのような多弦楽器を廃止することを主張した。

あるいはまた、イスラエルでは反ユダヤ主義者であった19世紀ドイツの作曲家リヒャルト・ヴァーグナー Richard Wagner の音楽を演奏することは、現在でもタブーとされている。

国家・社会のなかで、芸術ははたしてどのように機能すると考えられるだろうか。あなたの考えを述べなさい。

4. 今日の社会において女でなければできないとされている仕事、男でなければできないとされている仕事は、ますます少なくなりつつある。これは資本主義市場のなかに効率よく労働力を吸収する力学が働くことで、社会がこれまで規定してきた性差（ジェンダー）が消滅しつつある事態とも受け取れる。それはまた、性的タブーが無くなり、一見多様化したかに見える性的関係が、じつはある種の均一化への道をたどりつつあることだともいわれる。では、このような状況の中で、将来人間は互いに何に惹かれ性的な関係を結ぶことになるのだろう。具体例を挙げながら論じなさい。

試験科目：論述

第2ページ

現代アメリカ表現科学講座

5. 南北両アメリカにおける言語のいわゆるクレオール化について、具体的な事例を挙げて論述しなさい。
6. 1910年代から20年代にかけて、アメリカ合衆国は、政治的にも経済的にも、さらに文化的にも世界のリーダーになったといわれているが、そのことを具体的な例を挙げて説明しなさい。

現代東アジア表現科学講座

7. 「これからはアジアの時代」と言われて久しいが、「アジアの時代」という表現にはどのような意図が込められているのであろうか？また、現状はどうであるのか。思うところを述べなさい。
8. ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかの言語と日本語との統語面における共通点、相違点について具体例を挙げて説明しなさい。

現代ヨーロッパ表現科学講座

9. コンピュータ・ネットワークの発展によって現代世界の情報の流通は飛躍的に拡大している。これはしばしばヨーロッパ15世紀後半以降の活字印刷の普及と比較されることがある。両者の類似点と相違点について論じなさい。
10. スポーツが一つの文化である以上、それは政治や経済、社会問題といったものと深く関係している。例えばイギリスのサッカーを語るならば、商業化を語り、政治を語り、ヨーロッパとの関係を語り、フーリガンを語る過程で、その伝統と行く末を語ることになるであろう。ヨーロッパのある国と特定のスポーツを例に挙げ、その社会的諸問題を論じなさい。

共通選択

11. 現在、世界の言語の多様性は危機的状況にあると言われている。危機に瀕した言語の救済は必要であるか、あるいは必要でないかを論じ、必要であるとすれば、どのような方法によってそれが可能かを論じなさい。